

令和 6 年度 学校評価シート

学校名：海南高等学校 大成校舎 学校 校長名：川久保 尚志

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

・地域理解を深め、地域社会に貢献できる人材を育成する学校

・主体的、自主的に地域に貢献するための態度と力が身についた生徒

学校評価の公表方法

・学校のホームページで公開

・学校運営協議会や PTA 役員会等で公表

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）							
番号	計画・取組				評価（3月24日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	主体的な学習態度の育成と基礎学力の充実	C	授業規律の確立	生徒は授業に集中できているか	B	授業開始のチャイムと共に、授業に取り組む姿勢ができてい	生徒一人一人が授業に集中できるよう、効果的な声掛けや問いかけを行う。 1人1台パソコンを効果的に活用し、生徒の自主性を引き出す授業を展開する。 生徒個々が抱える課題に応じて、進度別に課題を設定し、補習等を行う。
			教材の工夫や研究	教材の工夫や研究に取り組んでいるか	B	独自の授業用プリントや、ICT機器を活用した授業を行っている。	
			個別指導や補習の実施	個別指導や補習を行っているか	A	希望する生徒に個別補習を実施するなど、丁寧な指導を行っている。	
2	個に応じた進路指導とキャリア教育の推進	B	ガイダンスや面談等を通し、早期に進路目標を持たせる	進路保障に向け、担任と進路指導部が連携し、有効な取組が進められているか	A	「産業を支える人づくりプロジェクト」の活用など各種ガイダンスを実施し、進路目標を定めることができてい	早期の担任面談で生徒の意思を確認し、効果的なガイダンスや企業訪問を企画・実施することで、明確に進路を意識させる。 生徒が希望する職種の選択を広げるため、就職指導員と連携し、職場訪問で新たな職場を開拓する。
			就職指導員と連携し、職場開拓・職場訪問を実施し、適切な進路選択につなげる	生徒自らが企業研究を行い、希望する職種や企業への応募ができてい	A	就職指導員と密に連携することで、生徒が希望する職種や企業への応募に繋げることができてい	
3	相互の人権尊重と特別支援教育の推進	B	生徒の諸問題を教職員が共有する機会を定期的に持ち、組織的な指導を行う	全職員が意思疎通を図り、適切な指導を行えているか	B	年度初めに生徒一人一人の情報共有を行い、状況把握に努めている。	学期に1回以上の全職員による定期的なケース会議等により、生徒の情報共有を行い組織的に支援・指導する。 生徒がSCやSSWに気軽に相談できるよう、全員面談等を企画する。 担任をはじめ関係するすべての教職員が、生徒の何気ないサインを見逃さずに対応する。
			保護者との連携を密にし、SC・SSWや外部機関と連携し迅速な対応を行う	生徒の悩みを把握し、教職員および関係者が連携して適切に対処しているか	A	SC、SSW、海南市子育て推進課等との連携やケース会議により、迅速に対応している。	
			いじめの未然防止のため、全教職員で観察や情報共有を行う	いじめアンケートを実施し、組織的な対応が適切かつ迅速に実施できているか	A	定期的ないじめアンケートの実施により、生徒の意思を確認することができてい	
4	特別活動の活性化と地域に信頼される学校づくり	C	生徒が主体的にHR活動や生徒会専門委員会活動ができるように指導する	生徒会が自主的に活動する機会が増えているか	B	新たに生徒会新聞を発行するなど、主体的な活動が徐々にではあるが増えている。	学校行事に生徒会の意見を取り入れ、主体的な企画・運営を後押しする。 生徒の自己肯定感を高めるため、ボランティア活動等への積極的な参加を募り、多様な世代との交流を図る。 積極的な部活動参加を促し、地域の方々との交流を含めた活動を行う。
			地元こども園や小学校、中学校との交流等の場を提案し、日常的に地域に貢献できる環境を作る	地域と連携した活動ができているか。また、その取組は生徒の自主性の育成につながっているか	A	こども園との交流が活発に行われ、図書館開放等により地域に貢献している。	
			部活動への積極的な参加を働きかける	部活動は活発に行われているか	B	87%が部活動に加入している。今年度、女子硬式野球部を創部、大会にも出場している。	

学校関係者評価（2月17日実施）

○福祉・看護コース（Ⅱ型）のアピールをもっと積極的に行ってみてはどうか。介護職員初任者研修への取組などを中学生や保護者に知ってもらうことが大切である。

○施設・設備の充実について、費用の面で致し方ない部分もあるが、できるだけ環境整備に努めてもらいたい。

○良い学校とは、施設・設備が充実していることだけでなく、信頼する先生に出会えることだと考える。信頼できる先生の育成にさらに尽力してほしい。

○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをさらに活用できるように、学校としての仕掛けを工夫して、より一層生徒を支援していくことが大切である。

○これまで取り組んできた、生徒一人一人に寄り添うきめ細かな指導を実践していることや、地域との密接な交流を続けていることが、大きな特色である。

○大成校舎と美里分校の生徒が行き来し、一緒に学べることを特色の一つとしてアピールすればよい。

○図書館開放は、大成校舎が長年行っている良い取り組みである。こども園との交流についても、さらなる充実に取り組んでもらいたい。